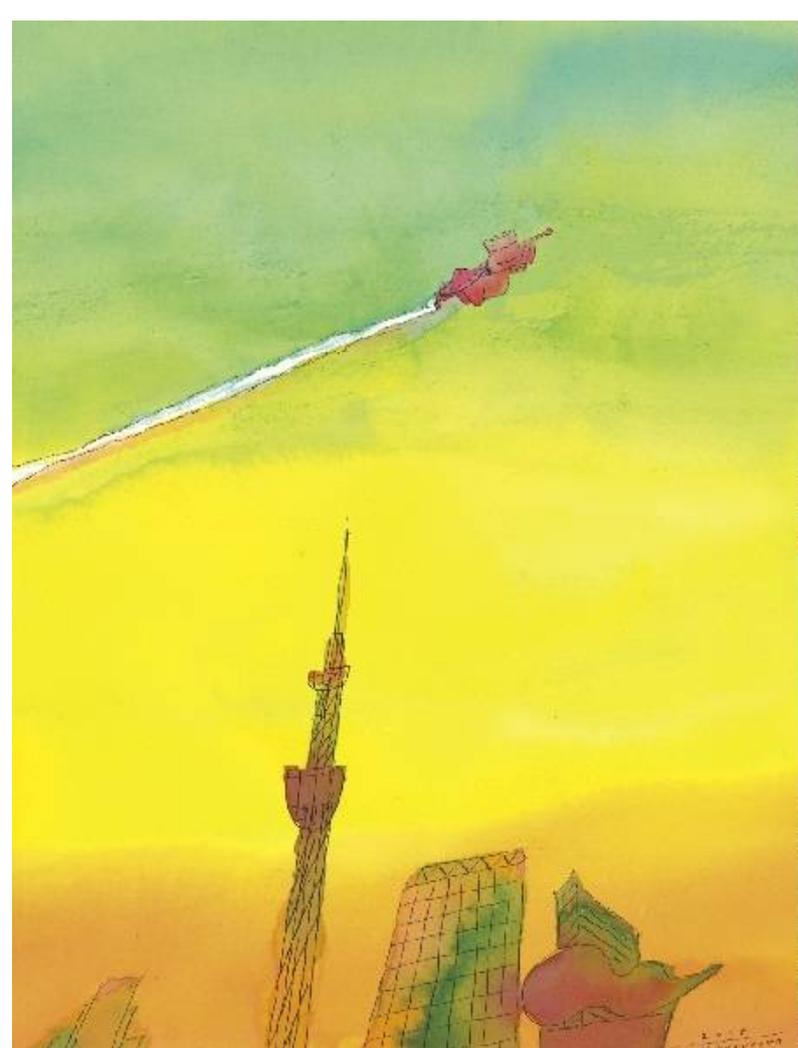


平成26年度版

# 伊賀市の

# 予算と財政状況



# もくじ

予算とは？	1
伊賀市の会計規模	2
一般会計・歳入予算	3
一般会計・歳出予算	4
今年度の重点施策	6
今年度の主な事業	10
伊賀市の財政状況	23

# 予算とは？ Q&A

## Q1 予算って何ですか？

- ・ A1 予算とは1年間の収入と支出を見積もることです。
- ・ 新しい年度が始まる前に、その1年間で、どのぐらいの収入があるのか、また行政サービスをどのように行うのかを計画し、そのために使うお金を見積もります。これらの内容をまとめたものが予算書です。

## Q2 予算はどうやって決まるのですか？

- ・ A2 市長がつくった予算案が、市議会の審議をへて議決により予算として成立します。
- ・ 市役所のそれぞれの担当部署が、総合計画や各種計画に基づき作成した案に、市民のみなさんの意見や要望を取り入れ「1年間の行政サービス」を検討します。市長は各担当部署の案をもとに自分の考え方を加えて予算案としてまとめ、市議会に提案します。
- ・ 市民を代表する市議会は、提案された予算案をいろいろな面から審議したうえで議決により予算を決めます。

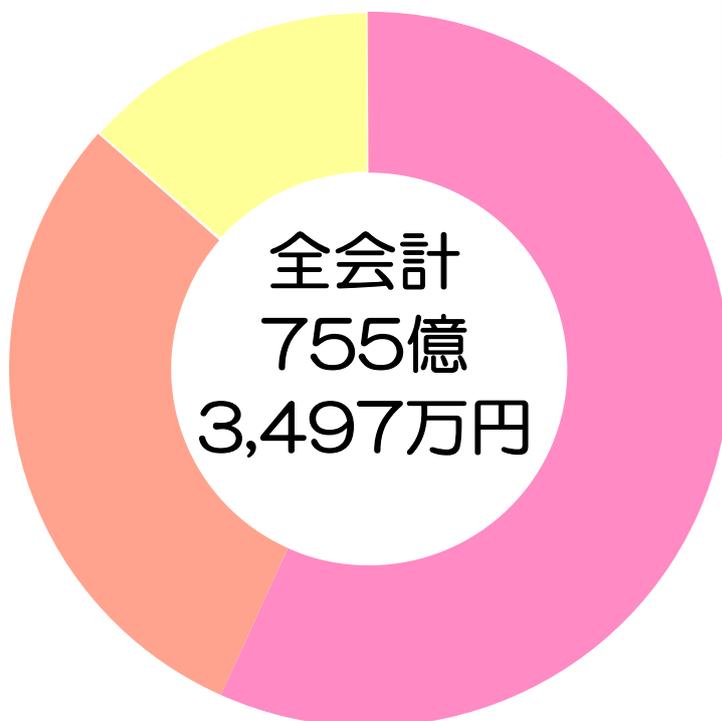
## Q3 一度決めた予算は、変えられないの？

- ・ A3 変えられます。その予算を補正予算といいます。
- ・ 市議会で決定した予算を使っていくうえで、予算を見積もるときに予測できなかったことが起こるときがあります。例えば、台風などの自然災害により、急にお金を使わなければならないときなどは予算を変える必要があります。このような場合にも、市長が変更する予算案をつくり、最初の予算と同じように市議会へ提案します。この予算のことを補正予算といいます。

# 伊賀市の会計規模

企業会計  
101億  
5,457万円  
13.4%

財産区特別会計  
5,242万円  
0.1%



特別会計  
224億  
6,809万円  
29.8%

一般会計  
428億  
5,989万円  
56.7%

## 一般会計

教育、福祉や道路・公園の整備など基礎的な行政サービスを行う会計。

## 特別会計

特定の事業を特定の収入によって行い、その収支を一般会計から切り離して経理する会計。

(9会計)

伊賀市には、国民健康保険事業など9つの特別会計があります。

## 企業会計

水道や病院など、民間企業と同じように事業で収益をあげて運営している会計。

(2会計)

伊賀市には、水道事業と病院事業の2つの企業会計があります。

## 財産区特別会計

財産区の財産の管理運営をするための会計。

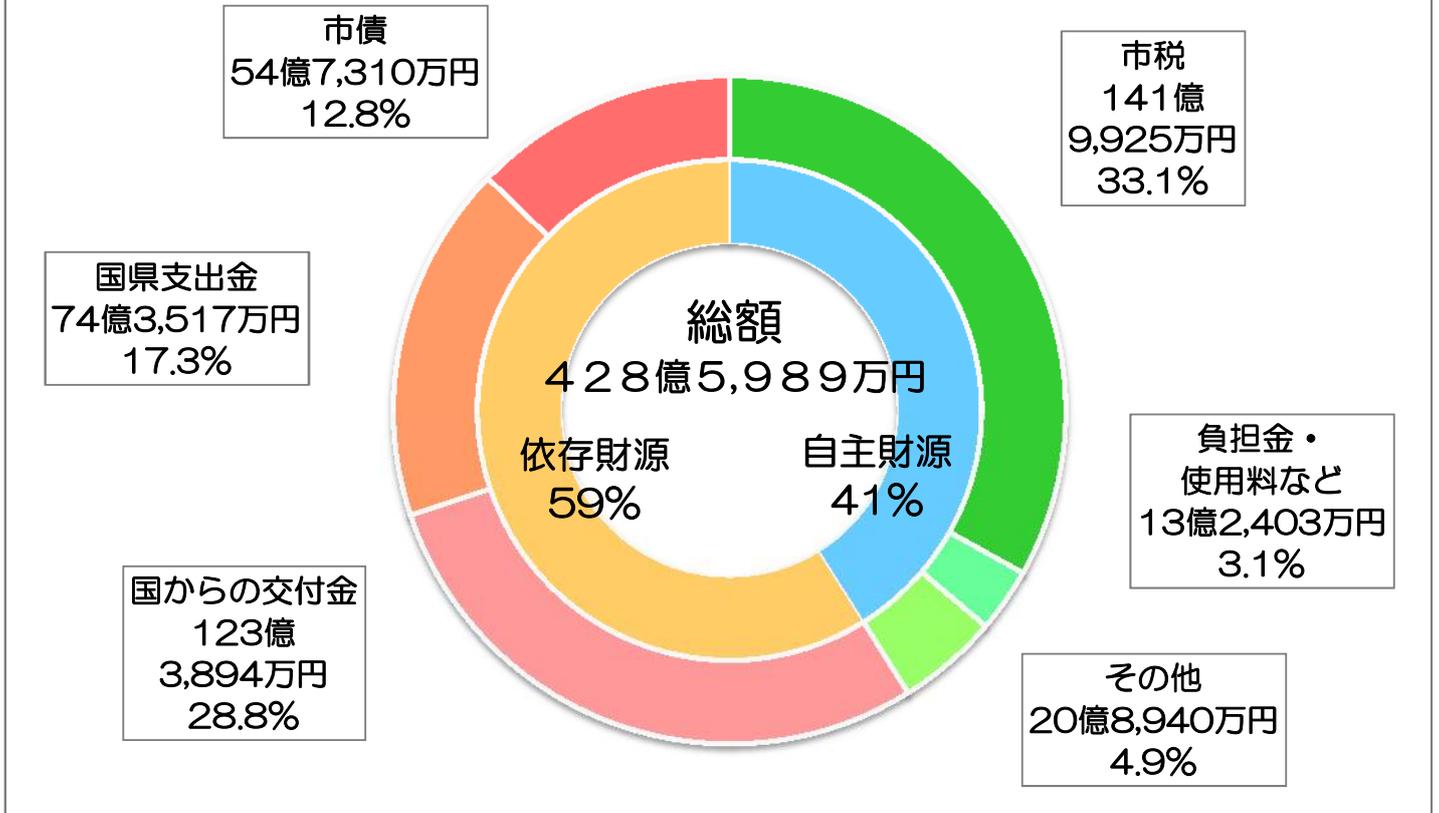
(2会計)

伊賀市には、大山田財産区と島ヶ原財産区の2つの特別会計があります。

## 財産区とは…

山林などの財産などを保有しており、地方自治法により法人格が認められた「特別地方公共団体」です。財産区の権限は、財産又は公の施設の管理及び処分又は廃止に限られているため、市のように広範囲で事務を処理することはできません。

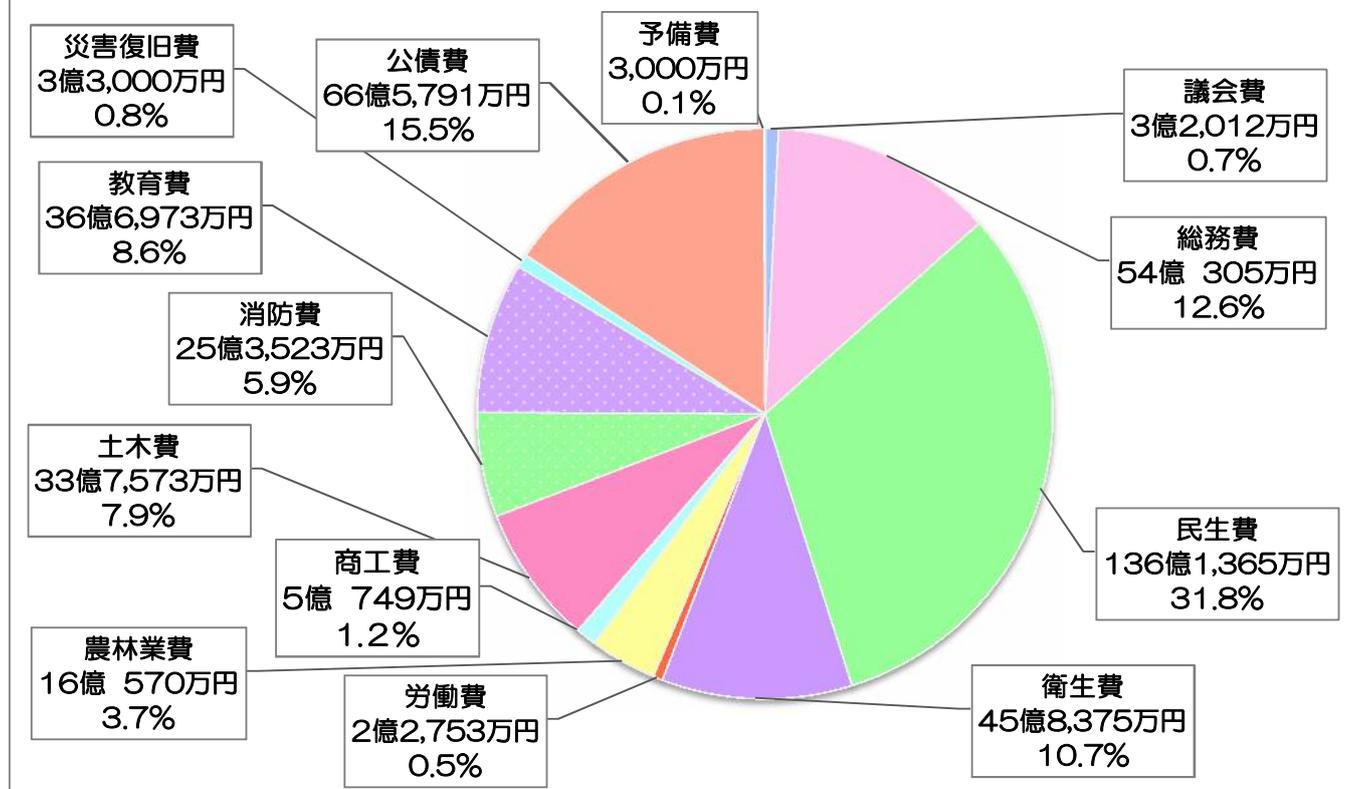
# 一般会計歳入予算



自主財源	市が自主的に収入できるお金。
市税	市民の皆様から納めていただいた税金。
負担金・使用料など	市が行う事業に対する負担金や使用料。
その他	基金繰入金やその他の諸収入など。
依存財源	国や県からもらう交付金などの収入。
市債	道路・公園、市の施設などをつくるために借り入れるお金。
国県支出金	みなさんが国や県に納める税金の一部で、使いみちが決められています。
国からの交付金	みなさんが国や県に納める税金の一部で、地方交付税や地方譲与税などとして交付されます。使いみちは自由です。

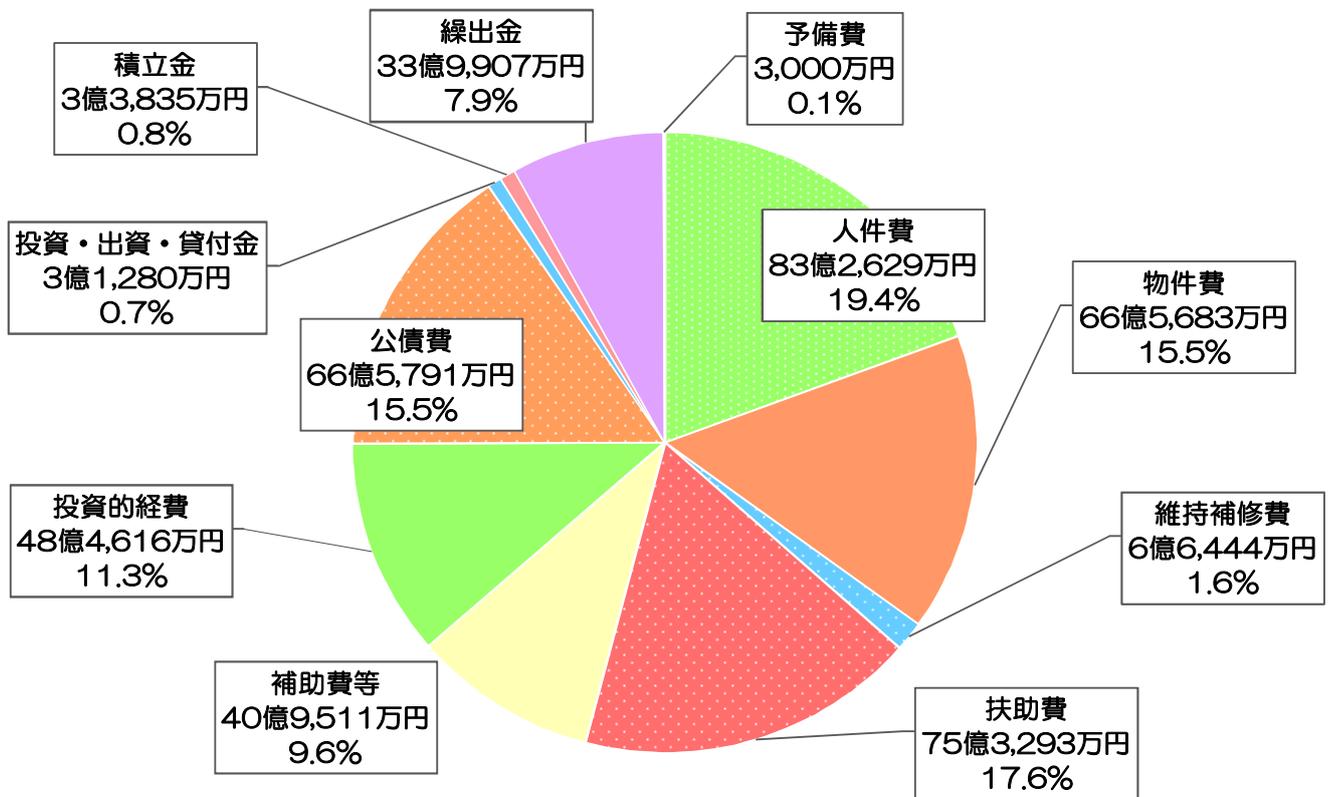
一般財源	市が自由に使いみちを決められるお金。 例) 市税、地方交付税など
特定財源	使いみちがあらかじめ決められているお金。例) 国県支出金、市債など

# 一般会計歳出予算（目的別）



議会費	議会運営にかかる経費。
総務費	庁舎管理やシステム保守、地域振興や住民自治などの経費
民生費	福祉全般にかかる経費。市の事業の中で最も割合が大きい経費です。
衛生費	環境対策や清掃事業、健康推進などにかかる経費。
労働費	地元の雇用の促進にかかる経費。
農林業費	農業や林業にかかる経費。
商工費	商工業や観光振興にかかる経費。
土木費	道路、公園、市営住宅などの維持管理や建設事業にかかる経費。
消防費	消防活動等にかかる経費。
教育費	市立の小中学校や幼稚園の管理、文化財、スポーツ振興にかかる経費。
災害復旧費	台風などの災害により破損した道路などの復旧にかかる経費。
公債費	市債の償還や利子にかかる経費。
予備費	台風や大雪などの予測できない事態で、緊急に支出が必要になるための経費。

# 一般会計歳出予算(性質別)



人件費	市長や職員、議員や各種委員、嘱託職員や消防団員の報酬。
物件費	行政運営上必要な経費。旅費、賃金、光熱水費、通信運搬費、施設維持にかかる委託料など。
維持補修費	庁舎や公園、道路などの公共施設の維持補修にかかる経費。
扶助費	児童、高齢者、障がい者、生活困窮者などに対して市が行う支援にかかる経費。
補助費等	各種団体への助成、負担金などにかかる経費。
投資的経費	市が行う建設事業と災害復旧にかかる経費。
投資・出資・貸付金	県との協調融資の原資や他会計への出資、貸付金などの経費。
積立金	市の貯金である「基金」への積立金。
繰出金	一般会計と特別会計、又は特別会計間において支出される経費。

※義務的経費…人件費、扶助費、公債費は地方公共団体の義務的経費といわれ、支出が義務づけられているものや任意に削減しにくい硬直性の高い経費です。これらが歳出予算に占める割合が低いほど健全な財政であるとされています。

## 重点施策 ①医療の再生

「救急医療を担う伊賀地域の中核病院へ」という目標の達成に向けて取り組んでいきます。

具体的な方法として、上野総合市民病院の5階病棟を改修して、「がん療養病棟」として活用します。

また、今いる医師・看護師の力を最大限に活用し、入院患者を増やし、収益の改善につなげます。

しかし、運営経費の不足が懸念されるため、一般会計から財政健全化のための補助金を投入する予定です。

がん療養病棟の整備改修経費 1億1,880万円

担当課：上野総合市民病院・経営企画課

財政健全化補助金 2億円

担当課：財政課

地域医療体制再生事業 82万円

伊賀市の地域医療体制の再生に向け、伊賀地域と生活圏を共にする地域も含めた医療資源の現状や、将来の医療需要等の調査を実施するための経費です。

担当課：医療福祉政策課



## 重点施策 ②観光・農林業の再生

<「観光立市」の確立にむけて>



### 着地型観光推進事業経費

1,241万円

地域資源や観光資源を活かした観光メニューを提供する事業主体をできるだけ多く育成し、観光客や旅行者を全市的に受け入れる体制を構築します。

また、それらの観光メニューを観光パンフレットにまとめて伊賀市全体でPRと販売促進を行います。

担当課：観光戦略課

### 観光誘客看板等設置業務委託料 324万円

関西国際空港、中部国際空港などに忍者をテーマにしたトリックアートを設置し、忍者の里「伊賀市」を情報発信し、国内外の誘客を図ります。

担当課：観光戦略課

### 歴史的風致維持向上計画策定委託料 246万円

城下町や宿場町の景観を残し、観光資源として活かすために新たに計画を策定し、歴史的な景観の保存を進めます。

担当課：文化財課

## 重点施策 ②観光・農林業の再生

### <「伊賀産」ブランド商品の販売促進>



#### フェイスブック制作委託料

54万円

伊賀産ブランドのファンページを開設し、食材PRやお店を紹介します。

#### 食材フェア開催委託料

324万円

10月頃に浅草の飲食店で伊賀の食材を使ったオリジナルメニューを提供します。

#### アンテナショップ運営経費

108万円

食材フェアの期間、アンテナショップを運営し、伊賀産ブランド商品宣伝と販路の拡大を図ります。

#### 伊賀産食材販路拡大事業委託料

86万円

東京の飲食店を対象に伊賀産食材の商談会を開催し、販路拡大を図ります。

担当課：農林振興課

## 重点施策 ②観光・農林業の再生

### <農林業の振興>

#### 森林環境創造事業

3,308万円

伊賀市森林整備計画に基づき、担い手不足や高齢化、放置林などの増加により機能低下している森林について、広葉樹と針葉樹の混交した多様な森林づくりを進めます。

#### 緊急間伐・搬出間伐推進事業

1,101万円

市内に存在する森林の適正管理を徹底するため、緊急に間伐すべき森林について、間伐経費と搬出経費の一部を助成します。

#### 鳥獣害防止事業

2,123万円

有害鳥獣による農産物の被害を防止するため、電気柵等を共同で侵入防止施設を設置する農業者に対して、施設設置に必要な資材購入費の一部の助成などを行います。

担当課：農林振興課



# 健康・福祉の分野



## 子育て世帯臨時特例給付金給付事業

1億877万円

消費税率の引上げに際し、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図る観点から、臨時的な給付措置として実施します。

担当課：厚生保護課



## 臨時福祉給付金給付事業

2億4,350万円

消費税率の引上げに際し、低所得者に与える負担の影響に鑑み、低所得者に対する適切な配慮を行うため、臨時的な給付措置として実施します。

担当課：厚生保護課



## 生活困窮者自立促進支援モデル事業

3,259万円

生活困窮者の自立支援のため、就労準備支援モデル、就労訓練事業の推進モデルや家計相談支援モデル事業を行います。

担当課：厚生保護課、福祉相談調整課

## 子ども医療扶助費（市単）

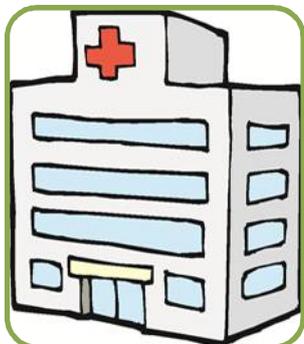


361万円

今年度9月から、市独自の事業として子ども医療費の受給対象者を中学校3年生（入院分のみ）まで拡大します。

担当課：保険年金課

## 不妊治療助成事業



600万円

特定不妊治療を受けた夫婦の経済負担の軽減のため、その費用の一部を助成します。

担当課：健康推進課

## 地域医療対策事業



1億4,074万円

安定的な二次救急医療体制を構築するため、関係機関と連携を深めるとともに、夜間・休日における一次救急医療の充実を図るため、伊賀市応急診療所を開設します。

また、救急医療や応急処置などに24時間・年中無休で電話相談できる救急相談ダイヤル24事業を実施します。

担当課：医療福祉政策課

# 生活・環境の分野

## ごみ収集経費



3億7,830万円

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第6条第1項の規定に基づき、一般廃棄物処理実施計画の策定を行い、分別収集を市民に周知するとともに一般廃棄物の収集業務委託を行います。

また、家庭から排出される一般廃棄物の収集に伴い、必要となる容器等の購入やごみ収集日程表の作成を行います。

担当課：廃棄物対策課

## 粗大ごみ戸別収集事業



1,033万円

今年度からは、集積場へ排出出来ない大きなごみや、処理困難・危険物などを申請者の自宅前まで有料により収集に伺う、粗大ごみの戸別収集事業を実施します。

また、高齢者や障がい者などで構成する世帯に対して粗大ごみを無料で収集する福祉収集も継続して実施します。

担当課：廃棄物対策課

きれいな川を守るために



## 浄化槽設置整備事業補助金

5,529万円

生活雑排水などによる水質汚濁を防止するため、個人住宅で合併処理浄化槽を設置しようとする人に対して、その設置に要する費用の一部を補助します。

担当課：下水道課



## 消防本部新庁舎整備事業

6億5,655万円

消防本部新庁舎建設に係る経費です。

担当課：消防総務課

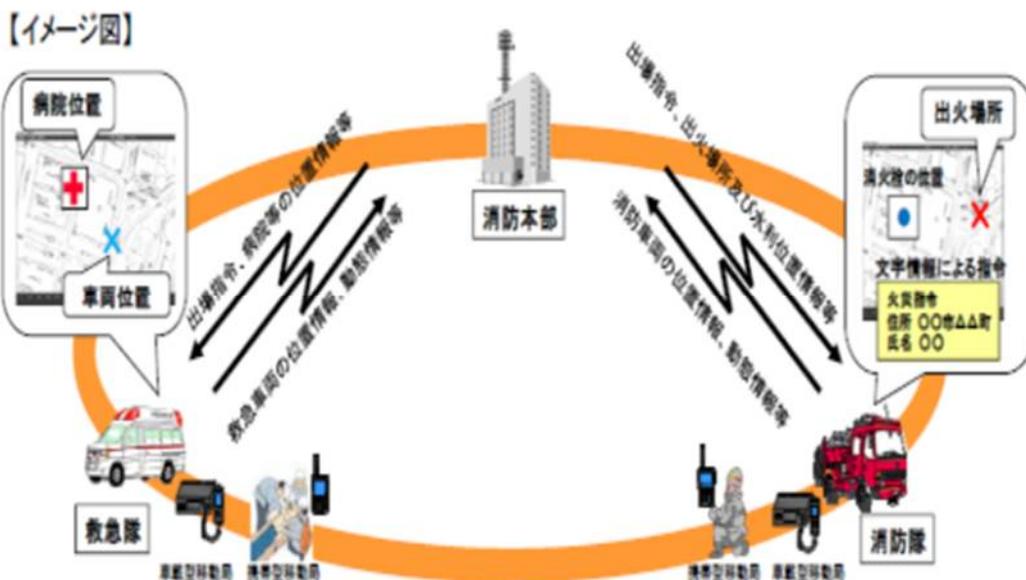


## 消防救急無線デジタル化事業

2億3,961万円

消防救急無線については、平成28年5月末を期限として、現行のアナログ方式からデジタル方式へ移行することが決定しており、それに伴い整備する経費です。

担当課：消防総務課



## 産業・交流の分野

### 緊急雇用創出事業（起業支援型地域雇用創出事業・地域人づくり事業）

1億4,800万円

地域に根ざした事業の起業等を支援し、失業者の雇用の場を確保します。

また、若者、女性、高齢者等に対し、人材育成等の支援を行うことにより、雇用の拡大、就職等の促進を支援するとともに、企業における人材育成や、販路拡大、生産性の向上等の取組を支援し、在職者の賃上げ、正社員化等の処遇改善を実現します。

担当課：商工労働課



### 中心市街地等商店街活性化事業

835万円

中心市街地に賑わいを回復し、市民の交流の場を確保し、地域コミュニティの活力向上を促進するためににぎわいフェスタへの支援や商店街への補助を行います。

また、空き店舗等活用事業を実施し、商店街に賑わいを取り戻すことを目指します。

担当課：商工労働課



### 上野公園情報発信設備設置業務委託料

50万円

忍術博物館に無料のWi-Fiのアクセスポイントを設置し、観光客の利便性の向上を図ります。

担当課：観光戦略課



## 生活・基盤の分野

### 個人住宅耐震診断支援事業

324万円



市内にある木造住宅の地震に対する安全性の向上を図り、地震に強いまちづくりを進めることを目的とし、国・県からの支援を受け木造個人住宅の耐震診断事業を実施します。

担当課：建築住宅課

### 住宅・建築物耐震改修等事業

3,380万円



市内の木造個人住宅で耐震診断を受診された人に対して、耐震補強を進め、国・県から支援を受け助成を行います。これにより木造住宅の耐震化が推進され、まちの安全を確保します。

担当課：建築住宅課

### 伊賀鉄道活性化促進事業

6,754万円



伊賀線の存続のため、伊賀鉄道株式会社に対して運営費の補助を行うとともに、市民の移動手段の確保に努め、同線の活性化を図ります。

また、児童や生徒の団体利用に対しての助成や合冊時刻表の作成などを行い、利用促進を図ります。

担当課：総合政策課



## 交通計画推進事業

1, 174万円

市内の交通体系を持続可能なものとし、地域公共交通の活性化及び再生に資する計画の策定並びに調査に取組みます。

担当課：総合政策課



## ゆめが丘摺見線道路改良事業

1億7, 880万円

市道ゆめが丘摺見線は、ゆめが丘から広域農道に連結し、国道165号までを結ぶ路線です。ゆめが丘工業団地には、多くの企業が進出し、青山方面から通勤する人、物資の輸送などが急増しています。また、ゆめが丘は人口が急増しており、青山工業団地までの交通量も多くなっています。これらのアクセス道路として重要な路線であることから道路改良工事を実施します。

担当課：建設1課



## 西明寺緑ヶ丘線道路改良事業

1億912万円

国道163号線と市道荒木木興線（税務署からしらすぎ運動公園へ向かう道）を南北につなぐ道路を整備します。旧商業高校跡に建設する新消防庁舎の進入道路としても利用します。

担当課：建設1課

## 教育・人権の分野



### 施設改修事業

8,371万円

空調設備未設置校である神戸小学校と依那古小学校に空調設備の整備を行います。

担当課：教育総務課



### 猪田小学校大規模改造事業

1,269万円

平成27年4月に古山小学校と統合を予定しており、平成27年中に大規模改造を実施するための設計を行います。

担当課：教育総務課



### 三田小学校施設改修事業

9,089万円

三田小学校と丸柱小学校の一部（諏訪地区）の統合を予定しているため、三田小学校の施設改修工事を行います。

担当課：教育総務課



## 河合小学校建設事業

6億9,665万円

耐震補強工事が困難なため、通常よりも耐震強度を高めた災害に強い校舎を建設します。

担当課：教育総務課



## 人権啓発推進経費

2,050万円

人権フェスティバルや地区単位での講演会・懇談会を開催することで、人権を尊重するまちづくりを目指します。

担当課：人権政策・男女共同参画課



## 文化・地域づくりの分野



### 芭蕉翁生誕370周年記念事業経費

1, 776万円

松尾芭蕉翁生誕370年を記念し、芭蕉翁生誕370年記念事業実行委員会や各種団体などを中心に行われる顕彰事業や、「生誕地は伊賀市」を全国に発信する各種事業を実施します。

担当課：文化交流課



### 国際交流推進事業

1, 637万円

多文化共生社会を推進するため、多言語情報紙、行政サービスの通訳や外国人住民のための生活相談や外国人児童生徒の学習支援など、共生できる地域社会の構築に向けて啓発事業を行います。

担当課：市民生活課



### 住民自治協議会推進経費

1億5, 812万円

伊賀市自治基本条例に基づき、各地域における住民自治協議会の運営及び地域が主体となり取り組むまちづくり事業を支援するため、地域包括交付金を交付し、住民自治活動の推進を図ります。

担当課：地域づくり推進課



## 地域活動支援事業

456万円

伊賀市自治基本条例に基づき、市民の自主的なまちづくり活動を支援し、個性的で魅力あふれる地域づくりを推進するため、住民自治協議会及び市民公益活動団体などに対し助成を行います。

担当課：地域づくり推進課



## 地区市民センター整備事業

717万円

直接市民と接する行政の窓口である地区市民センターの整備を行います。

本年度は、三田地区市民センター改修工事などを行います。

担当課：地域づくり推進課



## 体育施設整備事業

7,548万円

平成27年の天皇杯、平成33年の国体に向けて、引き続き上野運動公園野球場の整備工事を行います。

担当課：スポーツ振興課

# 市全体の計画の推進

## 住民票等証明交付事業

4,230万円



住民票の写し等住民基本台帳関係証明書交付業務、戸籍謄抄本等戸籍関係証明書交付業務、印鑑証明書交付業務を行います。

多様化するライフスタイルへの対応、住民の利便性の向上を図るため、コンビニエンスストアにおける証明書等の自動交付（コンビニ交付）事業を平成27年1月（予定）から実施します。

担当課：住民課

## 社会保障・税番号制度導入経費

5,150万円



マイナンバー法（「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」）に基づく「社会保障・税番号制度」の導入準備として、伊賀市の既存システムの改修を行います。

また、関係省庁開催の番号制度説明会へ出席し、番号制度に関する情報収集、該当各課への情報提供を行います。

担当課：広聴情報課

## 「みえ森と緑の県民税」を活用した事業

「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、その費用を負担していただく「みえ森と緑の県民税」が導入されます。

○「みえ森と緑の県民税」の使いみち

### 伊賀市ウッドスタート事業 231万円

健やかな子どもの成長と地球環境の維持に役立つ適切な木材利用推進を図るため、「木育」のきっかけとして、親子で木のぬくもりを共有できるものを配布します。

### 伊賀の森っこ育成推進事業 350万円

次世代を担う子ども達の森林・林業への理解と関心を学校教育の場でも学べるよう、市内の小学校が実施する、森林に関する学習活動、里山整備活動、植物・樹木観察など、森林環境教育に関する活動に対して、活動費用を支援します。

### みんなの里山整備活動推進事業 500万円

地域や生活に密着した緑の環境づくりや里山・竹林の再生を図るため、緑化や里山・竹林の整備活動に対して助成を行います。

### 地域の森と緑のつながり支援事業 150万円

地域の子ども達が地域住民とともに森林・林業に理解と関心を持ち、つながりを感じられるよう、住民自治協議会等が実施主体として、森や緑の学習活動に対して支援を行います。

担当課：農林振興課

# 伊賀市の財政状況

## ①家計簿

伊賀市の予算（一般会計約 428 億 6,000 万円）を 1 ヶ月の家計にたとえると・・・

予算総額 428 億 6,000 万円



月収 428,600 円の家庭とします。

歳入	
市税・国からの交付金など	290 億 3,000 万円
国県支出金	74 億 4,000 万円
基金繰入金	9 億 2,000 万円
市債	54 億 7,000 万円
歳出	
人件費	83 億 2,000 万円
投資的経費	48 億 5,000 万円
扶助費	75 億 3,000 万円
公債費	66 億 6,000 万円
積立金	3 億 4,000 万円
補助費等	41 億 円
物件費など	110 億 6,000 万円

収入	
月収（給料など）	290,300 円
親からの支援など	74,400 円
預貯金の取り崩し	9,200 円
借金	54,700 円
支出	
食費など	83,200 円
自宅の増改築・修繕費	48,500 円
医療費	75,300 円
借金の返済	66,600 円
貯金	3,400 円
各種会費	41,000 円
光熱費・交際費など	110,600 円

1 ヶ月の収入は、親からの仕送りがあっても足りないため、借金や貯金の取り崩しを毎月行っています。

## ②貯金

基金とは…家計でいうと貯金のようなもので、市の貯金といえます。  
地方公共団体は基金を積み立てることが条例で定められています。

基礎的なサービスを行う一般会計では

H26年度末の基金残高の見込み額は およそ122億円

○伊賀市の人口は およそ97,000人として計算すると…

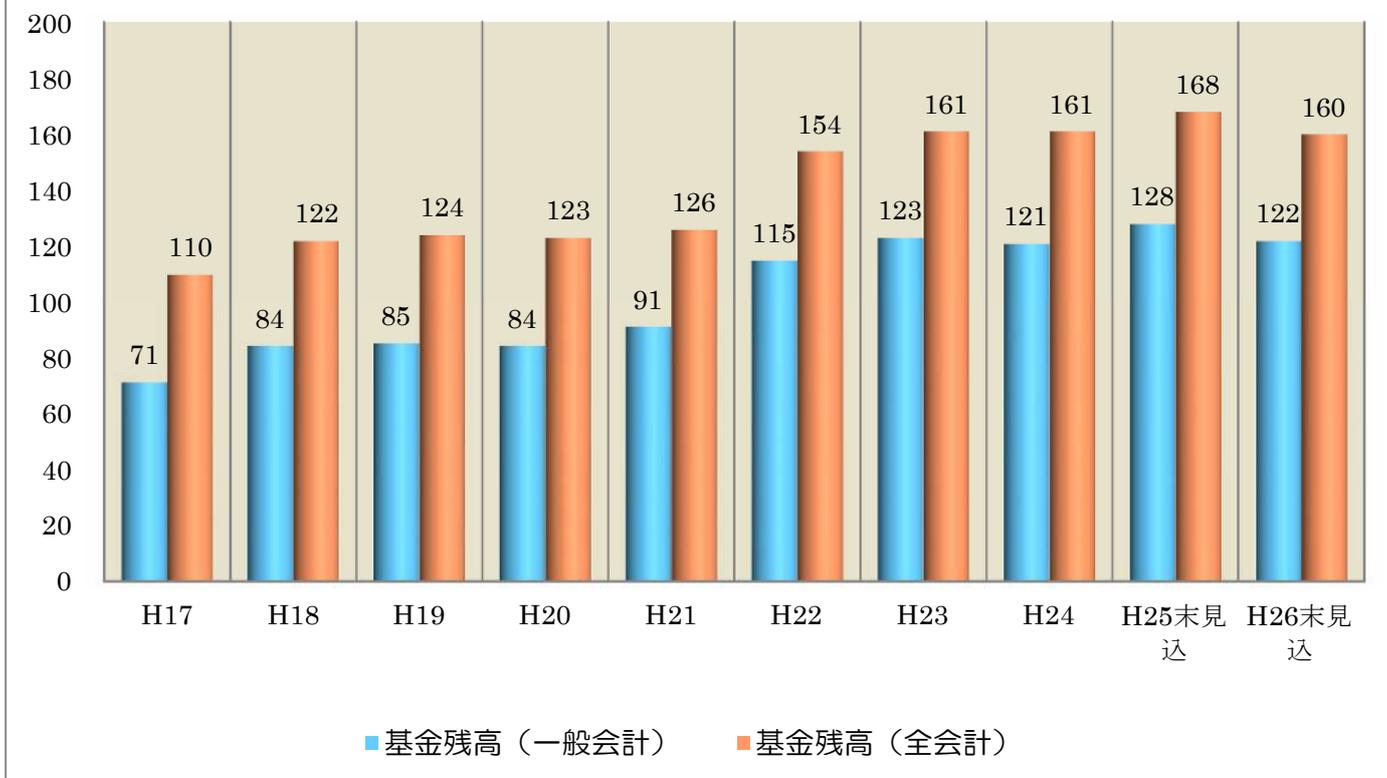
一人あたり およそ13万円の貯金となります。

特別会計なども含んだ伊賀市全体では

H26年度末の基金残高の見込み額は およそ160億円

一人あたり およそ16万円の貯金となります。

基金残高(単位：億円)



### ③借金

市債とは…市の借金のことです。

市債は、長期間使われる道路や公園などの公共施設の整備のために使っています。

現在の市民の税金で一度にまかなうよりも、お金を借りて長期に渡り返済するほうが、将来にわたって公共施設を利用するすべての世代の人が負担することになるため、世代間の公平性を図ることができます。

基礎的なサービスを行う一般会計では

H26年度末の市債残高の見込み額は およそ577億円

○伊賀市の人口は およそ97,000人として計算すると…

一人あたり およそ59万円の借金となります。

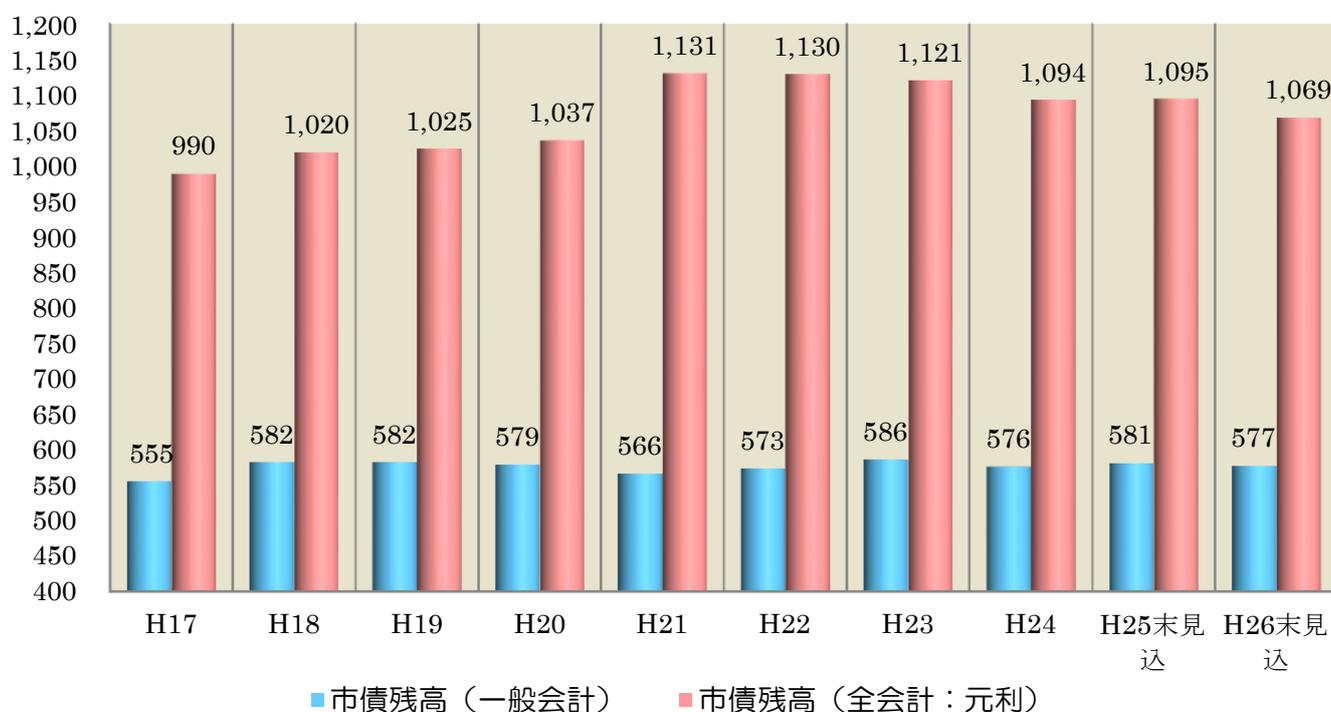
特別会計なども含んだ伊賀市全体では

(元金だけでなく利子も含んでいます。)

H26年度末の市債残高の見込み額は およそ1,069億円

一人あたり およそ110万円の借金となります。

市債残高(単位：億円)



※H25末見込には、H26年度への繰越事業分も含まれています。

H25年度の実借入額は、現残高より約11億円減る予定です。